

# 国語科学習指導案

呉市立郷原中学校  
指導者 柎木 暢也

1 日 時 平成25年10月15日(火) 13:25~14:15

2 学 年 第2学年A組 (男子21名 女子16名 計37名)

3 単元名 自分版徒然草をつくろう

## 4 単元について

- 本単元では、「C 読むことエ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。」に重点を置いて指導する。また、その活動につなげるために、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像すること。」のア(イ)を関連した活動として位置付ける。

兼好法師の「徒然草」は、日本の代表的な随筆集である。自然や人生、社会に対する意見や批評、人々の逸話や教訓などを、自由なものの見方で書いている。「仁和寺にある法師」では、前半に、主人公である仁和寺の法師の失敗譚が書かれ、後半に、それに対する筆者の考えが述べられている。主人公が早とちりをしてしまった結果、失敗をしてしまうという内容は、生徒が興味をもって読むことができる教材であろう。その中で兼好法師が伝えたいことをとらえるためにも、登場人物の思いと行動を丁寧に読む必要がある。

- 本学級の生徒は、落ち着いて学校生活を送ることができており、様々な活動に対しても積極的に取り組もうとする姿勢がよく見られる。

広島県「基礎・基本」定着状況調査では、「書くこと」の平均通過率が、県の49.6%に対して63.2%、「書くこと読むこと」においても、県が63.7%で、本校が64.6%と上回った。しかし、「叙述の仕方の確認」の問題では、通過率が33.3%と、文章を読み返し、分かりやすいように文章を直すことにおいて、効果的に接続詞を入れることができない、適切な主語を補えないといった課題が明らかになった。また、「根拠と記述の整合性」が41.7%、「根拠に基づいた考えの記述」が59.7%と、資料を読み取ったうえで自分の考えを述べるということに課題をもった生徒が多かった。

古典では、これまでに「枕草子」を学習した。音読指導中心で行ったために、筆者のものの見方・考え方に関しては多く時間をとらなかったが、筆者が自然をとらえる視点について、十分につかみきれない生徒もいた。この単元において、資料を読み深め、筆者のものの見方や考え方をとらえる力を育てる学習を進めていきたい。

- 指導にあたっては、「学習指導要領」に示されているように「文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。」が必要となる。そのためにも「仁

和寺にある法師」において、登場人物の把握とその思い、また登場人物がとった行動が的確にとらえられなければならない。そのうえで、筆者が伝え聞いたその話についてどのようにとらえているかについて、筆者の考えを知ることで、人間観察の確かさや鋭さを理解させたい。

具体的には、「仁和寺にある法師」の内容を把握するために、視覚的に登場人物の把握、思い、行動をとらえる活動から、作品の持つ面白さを感じさせる。また、補助教材として、「徒然草」のほかの段を提示することにより、現代の社会でも通用する人間観や人生観を扱い、生徒の理解しやすい説話を提示し、筆者のものの見方や考え方の特徴をとらえたい。そして、自分の体験や伝え聞いた話に対して、自分の考えを持ち、それを文章にしていく活動につなげたい。

- 単元を貫く言語活動として、「自分版徒然草をつくろう」を設定した。筆者のものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や考え方に生かすことを目標とし、『徒然草』の中に収められた数々の説話につながる自分の体験や身近な出来事を想起し、自分の考えを持つ活動を取り入れたい。筆者のものの見方として、扱われるエピソードの面白さを大事にしながらも、そこから謙虚に学んでいく姿勢が貫かれている。生徒には、そういった筆者の姿勢を捉えさせることは、自分の体験を見つめ、その事実をこれからの生き方につなげていくためにも有効な活動であると考えている。

## 5 単元の目標

### 【国語への関心・意欲・態度】

- 「徒然草」に表れた兼好法師のものの見方や考え方に触れ、古典を身近なものに関連させて考え、「自分版徒然草」の作成に取り組もうとしている。

### 【読むこと】

- 「徒然草」に表れている兼好法師のものの見方や考え方を読み取り、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つことができる。

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 「徒然草」に表れた兼好法師のものの見方や考え方に触れ、「自分版徒然草」の作成に生かしている。

## 6 単元の評価規準

評価の観点	単元の評価規準
国語への関心・意欲・態度	○ 「徒然草」に表れた兼好法師のものの見方や考え方に触れ、古典を身近なものに関連させて考え、「自分版徒然草」の作成に取り組もうとしている。
読む能力	○ 「徒然草」に表れている兼好法師のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持ち、「自分版徒然草」を作成している。
言語についての知識・理解・技能	○ 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、「自分版徒然草」の作成に生かしている。

7 指導の評価の計画 (全5時間)

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	具体的評価規準	評価方法
一	1	○「自分版徒然草」を作成することを 知る。 ・兼好法師や作品の時代背景について知る。 ・「徒然草」の原文を音読する。	◎			【関】「自分版徒然草」を書くために、「徒然草」を読もうとしている。	行動の観察
二	2	○筆者が「仁和寺にある法師」で伝えたかったことをとらえる。(本時)	○		◎	【関】「徒然草」に親しもうとしている。 【読】「徒然草」に表れている筆者のものの見方や考え方について読み取ることができる。	行動の観察 記述の確認
	3	○兼好法師の考え方をとらえる。 ・「高名の木登り」「猫又」の段を読み比べ、考え方をとらえる。			◎	【言】「徒然草」に表れたものの見方や考え方に触れている。	記述の確認
三	4	○「自分版徒然草」を作成する。 ・兼好法師の考え方をもとに、自分の体験を文章にするために内容を考える。	○		◎	【関】古典を身近なものに関連させて考え、相手に伝わるように文章化しようとしている。 【読】「徒然草」に表れている筆者のものの見方や考え方を生かして自分の考えを表現している。	記述の分析 記述の分析
	5	・「自分版徒然草」を作成し、交流する。			○	【言】「徒然草」に表れたものの見方や考え方に触れている。	記述の分析

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- 「徒然草」に表れている「謙虚な姿勢が大切だ」という考え方を読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

- 「徒然草」に表れている「謙虚な姿勢が大切だ」という考え方を読み取り，自分の言葉でまとめている。

(3) 本時の準備物

ヒントカード

掲示物

(4) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◎支援を要する児童への手だて	具体的評価規準 (評価方法)
導入	1 本文を音読する。 ・ 本文を音読する。 ・ 現代語訳を読む。	○前回の学習内容を振り返り，今回の学習へのつながりを確認できるようにする。	
展開	2 めあてを確認する		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">           〈 本時のめあて 〉            兼好法師が「仁和寺にある法師」で伝えたかったことを読み取ろう。         </div>		
	3 登場人物を把握し，本文を構造化する。 ・ 本文を構造化する。  ・ 仁和寺の法師が仲間に話している時の思いと，様子を考える。	○現代語訳で登場人物を確認する。 ○それぞれの位置関係と仁和寺の法師の行動を，絵を使って確認させる。 ○仁和寺の法師の思いと様子を確認する。 「本当は目的を果たしていないのに，果たしたと思い込んだ仁和寺の法師が，得意げに仲間に語っている様子」は必ずおさえる。	
	4 筆者が「仁和寺にある法師」で伝えたかったことを考える。  <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>筆者が「仁和寺の法師」で伝えたかったこととは何か？また，それはどこから考えられるか？</p> </div>		「徒然草」に表れている筆者のものの見方や考え方について読み取っている。(記述の確認)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自でノートに記入する。</li> <li>・3～4人のグループで交流する。</li> <li>・全体で交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分で書くのが難しい生徒には、筆者の感想が書かれてある部分がわかるカードを渡し、考えさせる。</li> <li>○友達の考えやアドバイスは赤で記入させる。</li> <li>○教師が生徒の意見を集約する。</li> </ul>	
<p>〈 期待される生徒の反応 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことでも指導者が必要だ。</li> <li>・事前に誰かが教えてあげることが大切だ。</li> <li>・先に調べたり聞いたりすることは大切だということ。</li> </ul>			
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返って、まとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「年は関係なく（何歳になっても）<input type="text"/>聞くべきだった」の<input type="text"/>に入る言葉を考えさせる。</li> </ul>	<p>「徒然草」に親しもうとしている。 (行動の観察)</p>
	<p>〈 期待される生徒の反応 〉</p> <p>「年は関係なく（何歳になっても）<input type="text"/>聞くべきだった。」</p> <p><b>B評価</b> → 素直に、謙虚に、恥ずかしがらず、遠慮せず堂々と、はっきりと、気にせずに</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次回、「徒然草」のほかの段を読み、筆者のものの見方や考え方の特徴をとらえる学習することを予告する。</li> </ul>	

## 9 板書計画

